

響。2) 漂白処理時間の布地に及ぼす影響。3) 漂白温度の布地に及ぼす影響。4) 漂白後処理の影響。5) 洗滌剤との混用による布地への影響などである。

試験布には充分糊ぬきした未晒木綿を使用した。次亜塩素酸ソーダは規格に基づく水溶液にして使用し、処理の途中は漂白斑の生成を防ぐため時々攪拌し、処理後は塩素臭気のなくなるまで完全に水洗し、乾燥、アイロン掛けした試験布の白度と強伸度とを測定し、対照のものと比較検討した。

### 3) 次亜塩素酸ソーダの布地に及ぼす影響

日本女子大学 戸野村 操

○北川 洋子

茨城キリスト教短大 佐藤 京子

木綿を漂白するには晒粉が広く使用されているが、晒粉よりも安定度高く、滲透性に富み、用法簡便な次亜塩素酸ソーダが商品化されたので、次のような実験を試みた。

1) 次亜塩素酸ソーダ水溶液の濃度が布地に及ぼす影